

26週 私たちの義務が啓示される

質問 39. 神が人間に要求する義務は、何ですか。

答え I 神が人間に求めておられる義務は、その方の啓示なった御心に従順することです。

質問 40. 神が、人の従順のために、初めに啓示なさったのは、何ですか。

答え I 神が、人の従順のために、初めに啓示なさったのは、道徳法でした。

解説

神が、求める義務

神は創造主であり、主権者としてすべての人間に義務を求めておられます。それは、神が創造主であり、人生たちに有益を提供してくださる主人だからです（マラキ 1:6）。人間が神に従順しなければならない理由は、神が絶対主権者であり、法の制定者であるからです。また、もう一つの理由は、その方の栄光の卓越性のゆえです。神はご自身の聖と慈悲とを、ご自分の民を通して示そうとする目的を持っておられるから、彼らに必ず、要求なさる義務があります（詩 100:3、ペテロ 1:15-16）。従って、神の民は、主が要求なさる義務を行うために、その義

務などを知らなければなりません（詩 119:33）。

私たちの義務について啓示なさった

神は世界の創造された時から、ご自身の永遠の力と神性を被造物に認めさせ（ロマ 1:20）摂理の中からご自身の御心を啓示なさるのですが、時々、私たちはその御心を全部は知ることはできません（詩 73 編）。従って神は、ご自分の御心を人間の言語で啓示なさったのですが、それが直ちに聖書です。

聖書は、神に対して人間が行うべき義務を語っています（ミカ 6:8）。聖書は、私たちを指導する唯一で、完全な規範です。それは、充分であり確かな啓示です。聖書の命令と禁止事項は最終的です。神のみことばは私たちが従順すべき義務を含んでいます。神はイスラエルに語られました（詩 147:19）。イスラエルは神の声を聞き、その方の戒めに従順すべきでした（申 27:10）。

従順すべきこと

私たちは神の御心に、必ず従順すべきです。神を恐れる中で、真理の中で神に仕えなければなりません（ヨシュア 24:14）。その上、神のすべての戒めを尊敬し、それらに従順すべきです（詩 119:6）。更に、神の戒めを喜び守らなければならぬ（ロマ 7:22）、持続性を持って従順すべきです（箴 23:17）。神の戒めは、人間のことばより重要なこととして、いつも優先に守るべきです（使徒 5:29）。それゆえ、神の御心を知るために労苦しなければなりません（エペソ 5:17）。神の御心に従順することが、すべての人間の義務だから、神のみことばが理解できるよう聖霊の御業を求めることがあります（伝道書 12:3）。

道徳法

人間が従順するように啓示された法を「道徳法」と呼びますが、それは正しいこと、間違っていることと、聖いと言える性格のものとして、自然法とは区分できます（詩 73:13-17）。そして、イスラエルの国家のコードとして与えられた法とも区別されます（出 22:1-29）。勿論、道徳法は、儀式法とは区別されます。なぜなら、自然法は、自然の秩序によるもので、国家法は、ユダヤ人たちに一時的条件の中で与えられ、儀式法とは、救いを準備するものとして与えられたからです。しかし道徳法は、神の品性と関連されていることとして不变なものです（マタイ 5:18）。そして、道徳法は靈的であり、聖であり、義であり、善であります。道徳法は、一番先にアダムに与えられ、神との持続的な交際のために与えられました（創 1:26、2:7、3:8）。

道徳法によって、義と命を得ることはできない

道徳法は、すべての人間に有効です。勿論、異邦人にも自然の光として知らされているから、律法がなかったとしても、道徳法を犯せば、罪を犯したことになります（ロマ 2:14-15）。勿論、道徳法を完全に従順して、命を得られる人はいません。アダムが罪を犯した以降、どのような人生も、律法を完全に守れることはできなくなったからです。それで律法は、人間が罪人であることを教え、キリストに出て行くようにさせる機能をします（ロマ 3:20）。

信者にとっての道徳法

新生した信者には、道徳法が、キリストの法になります（I ペテロ 1:18）。信者にとって律法は、命の規範として有効で、道徳法は、神の聖さに似て行くようになる道具となります。道徳法に、神の義・善・聖が反映されているから（ロ

マ 7:12) 道徳法を守りながら、聖くなれるのです（ロマ 8:4）。

時々、道徳律廃棄論主義者が、ロマ 6 章 14 節を誤用して、信者はそれ以上律法を守らなくても、恵みによって生きて行けば良いのだと主張しますが、この教えは偽りです。彼らは、聖化が救いに含まれているという、聖書的教えを信じません（ヘブル 12:14）。信者は必ず、行いの原理によって道徳法を守らなければならなく、聖霊に従って行うようにされば、必ず道徳法を守るようになります（ロマ 8:4）。